1F東側にある和室。障子を開けるとLDKと共有している約8畳の小さな庭につながる。

2F北側の子ども部屋。ドアが2つあり、将来は2つに分けることもできる。天井の木がアクセントを加えた空間になっている。

2F ご夫婦の寝室。洗濯物を干すベランダは囲いを少し高くしてプライバシーを確保。収納にもなりスペースとしても活用できるロフトは、旦那さんの書斎とおなじつくり。

南側外観の夜の風景。この個性的な外観は「まず直方体があって、それをどんどん削っていったイメージでつくりました」と中道さん。その発想とセンスがこのデザインをつくりあげた。

カウンターのある対面式キッチン。家事をしながらリビングの家族の様子を見渡すことができる。壁面にモザイクを使用した美さまお気に入りの空間。

▲キッチンのカウンターは支えの足がなく、板が埋め込まれるかたちになっている。下には金具をつけて強化され、しっかりとしたつくりに。また、タイルが敷かれた小さな庭は天気の良い日にはテーブルセットを出して「カフェのテラス席」のような使い方も。

◀カウンターの前にあるおの2つの椅子は、旦那さんが廃校になった学校から買い受けてきたもの。旦那さん自ら塗料を塗り直したその椅子のレトロな雰囲気がカウンターにとても似合っていました。

設計・監理 中道哲也(デザインオフィススタジオパートスリー)

施　工 株式会社 トータルプランニング城山

建てようネット【和歌山】で建てた新築第22号！

建て主Aさんが建てようネットに来場したのは、2008年6月。建てようネットで完成した「太田の家・M邸」をご夫婦で散歩中に見つけたのがきっかけでした。その家を設計した建築家・中道哲也さんと翌月に面談、土地探しからの家づくりで、希望の土地が見つかるまで1年かかりました。そして、2009年8月に中道さんと家づくりをする事が決まりました。

「神前の家・A邸」は田園を背に、閑静な住宅街の中に建っています。外観は一部が「明るいクリーム色と黒のコントラストが目を引きます。南側1Fの右部分、旦那さんの書斎のベランダ下に木がつかわれていたのは建て主さんが、外観のどこかに木を取り入れて欲しいと要望があったから。

また、上から見ると家のかたちはH型になっており、凹んだ部分は2つの小さな庭になっています。そこから、光と空気、そして緑の雰囲気を取り入れることが出来ます。

統一された内装。5センチ角のタイルを使ったキッチンカウンターと壁面、床タイルを貼った小さな庭にそれが反映されています。特に奥様が気に入っているのはタイルをつかったところ。小さなモザイクタイルを使うのが流行っていますが、そうではなく、このタイルを使うのが夢だったそう。キッチンカウンターに使った白いタイルは可愛らしくありながら落ち着いた雰囲気。また、リビングの奥に配置されているトイレの壁には同じ大きさの明るい水色のタイルが使われています。

リビングから2Fへの階段はスチールと木を組み合わせたつくり。「階段が重い雰囲気にならないようにいつも工夫する要素です」と中道さん。タテの面に板を貼らず最低限のライトな要素でつくられた階段は、ただの機能としてなげインテリアの階段を仕上げました。また、タルプ「プランニング城山」の現場監督・横谷さんの活躍も光っています。

建て主さんのこだわりと、中道さんの提案がうまく組み合わさって出来た「神前の家・A邸」。お洒落な建て主さんご夫妻の笑顔のある暮らしが似合う住まいになりました。

ご夫婦の理想
「カフェのような住まい」
が実現！

神前の家・A邸

Kouzaki no ie A tei

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H21年6月～8月

〈実施設計期間〉
H21年8月～年11月

〈見積もり依頼期間〉
H21年11月

〈起　　工〉
H22年2月7日

〈上　　棟〉
H22年3月25日

〈完成・引渡し〉
H22年6月12日

住宅データ

家族構成／
ご夫婦
構造／木造軸組工法
建築面積／
69.56 ㎡（21.04坪）
延床面積／
124.75 ㎡（37.73坪）
1F　62.52 ㎡（18.91坪）
2F　62.23 ㎡（18.82坪）
敷地面積／
165.32㎡（50.00坪）
屋根／
ガルバリウム鋼板立ハゼ葺
外壁／
微弾性塗料吹付左官コテ仕上

設計・監理

TetsuyaNakamichi

中道哲也

デザインオフィス・スタジオパートスリー

１９６３年生まれ。２５歳のとき我流で建築事務所設立。
その後共同でデザイン事務所設立、２００３年現事務所に至る。一級建築士。

モットー／
施主・施工者・設計者 三位一体

施　工

株式会社
トータルプランニング城山